

## 子育て支援の推進

アナ： 「市長が語る 2020 三島」第 24 回の今日は、「子育て支援の推進」についてお話を伺います。豊岡市長、よろしくお願いします。

市長： よろしく申し上げます。

アナ： 三島市は、子どもや子育てを支援する取組みをととても活発に行っている印象があります。

市長： ありがとうございます。私は、将来の三島の発展を担う子どもたちは、本市にとってかけがえのない大きな宝である、と考えています。保護者が安心して子育てができる環境を充実させること、そして、三島に住む子ども達が健やかに成長していけるよう、子育て支援に積極的に取り組んでいます。

アナ： そのような中、昨年度は、子ども・子育てに関する計画を策定されたとお聞きしました。

市長： 子育て支援の充実とともに、三島で成長するすべての子どもたちが明るい未来を描くことのできる街の実現に向けて、今年の 3 月に、本年度から 5 年間の計画期間とする「第 2 期三島市子ども・子育て支援事業計画」を策定いたしました。

アナ： その計画に沿って、三島市のこれから先 5 年間の子育て支援施策が進めてられていく、ということですね。

市長： そのとおりです。近年の子どもや子育て家庭を取り巻く社会環境の変化の中で、孤独感に悩み、育児不安を持つ親が増えています。そのような子育て家庭のニーズを的確に捉えたきめ細かな事業を、これからも積極的に進めてまいります。

アナ： 三島市ではこれまでも多くの子育て事業を展開していますが、その中でも三島の特色が良く出ている事業は、どのようなものがあるのでしょうか。

市長： これからは女性の社会進出がさらに進み、父親も家事や育児に積極的に関わるライフスタイルが定着していくと考えています。そのような中、昨年度から開始した事業として、男性（パパ）同士が子どもと一緒に交流し、日々の育児や仕事の悩みを共有することで子育て力の向上を目指す「パパの地域デビュー事業」を実施しています。

アナ： そのような事業があれば、育児に関わりたいと考える男性にとっては、とてもありがたいと思います。素敵な「イクメンさん」が増えてくれると良いですね。

市長： ぜひ、そのようになって欲しいですね。母親だけでなく父親も子育てにかかわることが、子どもの発達に良い影響をもたらすとも言われています。お父さんにも積極的に子育てに参加していただきたいと思います。

アナ： その他に、三島市が積極的に進めている事業は何かありますか。

市長： 三島市では、これまでも、行政だけではなく、自治会や町内会、地域の子育て支援団体、産業界までもが一緒になり、子どもやその親の育ちを応援してまいりまし

た。中でも平成 29 年度から行っている「あかちゃんのへや事業」は、乳幼児を連れてご家族が気軽に外出できるように、街中で授乳やおむつ替えのできる施設や事業所を「あかちゃんのへや」として登録し、どなたでもご利用いただけるよう広く PR をしています。商店街の店主からは、「子どもは地域の宝。気軽に利用してくれると嬉しい。」と、お父さんお母さんへのエールが送られていると聞いています。

アナ： 地域の皆さんから子育て中のご家庭にエールを送っていただけるのは、大変心強いことと思います。

市長： 地域の皆さんで、地域の子どもたちの誕生をお祝いしていただく「子どもは地域の宝事業」も、今年度で節目の 10 年目を迎えました。各自治会・町内会の皆さんにご協力いただきながら進めている事業ですが、今年は新型コロナウイルス感染症の影響から、お祝い会の開催を慎重に考えていただいている自治会も多いことと拝察します。今年度においては、お祝い会の開催に必要な感染症予防の用品購入に充てる経費についても、補助金の対象経費として認めておりますので、感染症対策をお考えいただきながら、ぜひ、地域の子育て支援活動を行っていただきますよう、お願い申し上げます。

アナ： お子さんが生まれた地域で、その地域の方々にも見守られながら、安心して楽しく子育てができることは、何より嬉しいことだと思います。多くの自治会・町内会でお祝い会が開催されると良いですね。

市長： ぜひ、お願いいたします。また、毎年 10 月にイトーヨーカドー三島店を会場に開催している子育て支援フェアにつきましては、市民の皆様、関係者の皆様の感染防止を考え、今年は展示物を中心としたイベントとして開催することとしております。お買い物の際には、展示スペースにぜひお立ち寄りください。

アナ： いつもとは一味違ったフェアの様子になるのですね。私もぜひ展示スペースに立ち寄ってみたいと思います。

豊岡市長、本日はありがとうございました。

市長： ありがとうございました。